

2010年8月3日

TBS テレビ「余命1ヶ月の花嫁」  
乳がん検診キャラバン事務局 御中

「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」の  
内容見直しを求める要望書提出有志一同

謹 啓

盛夏の候、貴社ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、6月9日付けで私共がお送りした要望書および質問状につきまして、7月9日付けで詳細な回答書を頂戴し、誠にありがとうございました。

ご指摘のとおり、日本では、国・地方自治体を含め、まだまだ科学的根拠に基づくがん検診が根付いていないのが現状です。そのような中、報道機関である貴社に、がん検診のあり方、並びに、がん啓発活動における情報発信の重要性について改めてご検討頂きたいと考えてお送りした要望書です。

私共のビジョンは、あくまで、日本において科学的根拠に基づくがん検診が理解され、普及し、救える命を救うことのできる社会を築くことです。そのためには医療関係者のみならず、がん患者、がん患者団体、がん患者支援団体、国・地方自治体、様々な分野の企業、メディアの協力・連携が不可欠であり、立場の違いを越えて率直に話し合い、学び合う姿勢が必要だと考えています。私共は、前述したビジョンが現実のものとなるよう今後もそれぞれの立場から、広く呼びかけ、活動を続けていく所存です。

最後になりますが、添付の資料は、本年5月米国国立がん研究所発行の医学誌 Journal of the National Cancer Institute に掲載された若年層のマンモグラフィ検診に関する最新の報告 (Yankaskas BC, et al : Performance of first mammography examination in women younger than 40 years. J Natl Cancer Inst 2010;102:692-701) のアブストラクトとメディア用解説メモです。参考までにお目通しいただければ幸いです。

謹 白

添付資料ウェブサイト URL

- ・ アブストラクト URL <http://jnci.oxfordjournals.org/cgi/content/abstract/102/10/692>
- ・ メディア用解説メモ URL <http://jnci.oxfordjournals.org/cgi/content/full/102/10/NP-a>

代表連絡先

NPO 法人キャンサーネットジャパン内

「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」の内容見直しを求める要望書提出担当者

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-6-8 中央自動車ビル 7F

電話 : 03-5840-6072 ファックス : 03-5840-6073

E-mail : kenshinyoubou @ gmail.com

「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」の内容見直しを求める要望書提出有志一同（以下38名）

青谷 恵利子（北里大学臨床薬理研究所 臨床試験コーディネーティング部門 部門長）  
有吉 寛（愛知県がんセンター愛知病院 名誉院長／悪性リンパ腫サバイバー）  
池田 正（帝京大学医学部外科学 教授）  
岩瀬 哲（NPO 法人キヤンサーネットジャパン 理事長）  
岩本 ゆり（医療コーディネーター 看護師）  
上野 直人（MD アンダーソンがんセンター教授／悪性組織性繊維球腫サバイバー）  
植村 めぐみ（がん患者会シャローム代表）  
内田 絵子（NPO 法人ブーゲンビリア 理事長／乳がんサバイバー）  
大橋 靖雄（東京大学大学院医学系研究科生物統計学 教授／NPO 法人メディカルライター協会 理事長）  
勝俣 範之（国立がん研究センター中央病院腫瘍内科）  
唐澤 久美子（順天堂大学医学部放射線医学講座 先任准教授）  
川上 祥子（NPO 法人キヤンサーネットジャパン 理事）  
久保井 撰（福岡県弁護士会（九州合同法律事務所） 弁護士）  
古賀 眞美（Patient Advocate Liaison 代表）  
後藤 悌（東京大学大学院医学系研究科呼吸器内科学）  
小西 敏郎（NTT 東日本関東病院 副院長／胃がん・前立腺がんサバイバー）  
西條 長宏（近畿大学医学部腫瘍内科 特任教授）  
桜井 なおみ（NPO 法人HOPE プロジェクト 理事長／KMaCS／乳がんサバイバー）  
佐治 重衡（東京都立駒込病院乳腺外科 非常勤医員）  
清水 哲（地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター乳腺内分泌外科 部長）  
鈴木 育宏（東海大学外科学系乳腺・内分泌外科 准教授）  
下妻 晃二郎（立命館大学総合理工学部生命科学部生命医科学科 教授）  
滝口 裕一（千葉大学大学院呼吸器内科学 准教授）  
田嶋 ティナ 宏子（白百合女子大学文学部 准教授）  
田所 多佳子（日本癌医療翻訳アソシエイツ／KMaCS）  
円谷 彰（神奈川県立がんセンター消化器外科 部長）  
坪井 正博（神奈川県立がんセンター呼吸器外科）  
寺田 真由美（KMaCS（もっと知ってほしい「がん検診」のことプロジェクト）／乳がんサバイバー）  
鳥集 徹（ジャーナリスト）  
中村 清吾（昭和大学医学部乳腺外科 教授／昭和大学病院 プレストセンター長）  
南雲 吉則（医療法人社団ナグモ会ナグモクリニック 総院長）  
野村 久祥（杏林大学医学部附属病院薬剤部 がん指導薬剤師・がん専門薬剤師）  
増田 美加（女性医療ジャーナリスト／乳がんサバイバー）  
向井 博文（国立がん研究センター東病院化学療法科）  
柳澤 昭浩（NPO 法人キヤンサーネットジャパン 事務局長／KMaCS）  
山崎 多賀子（美容ジャーナリスト／乳がんサバイバー）  
吉田 和彦（東京慈恵会医科大学外科学教授・青戸病院副院長、外科部長）  
渡辺 古志郎（横浜市立市民病院 名誉院長）